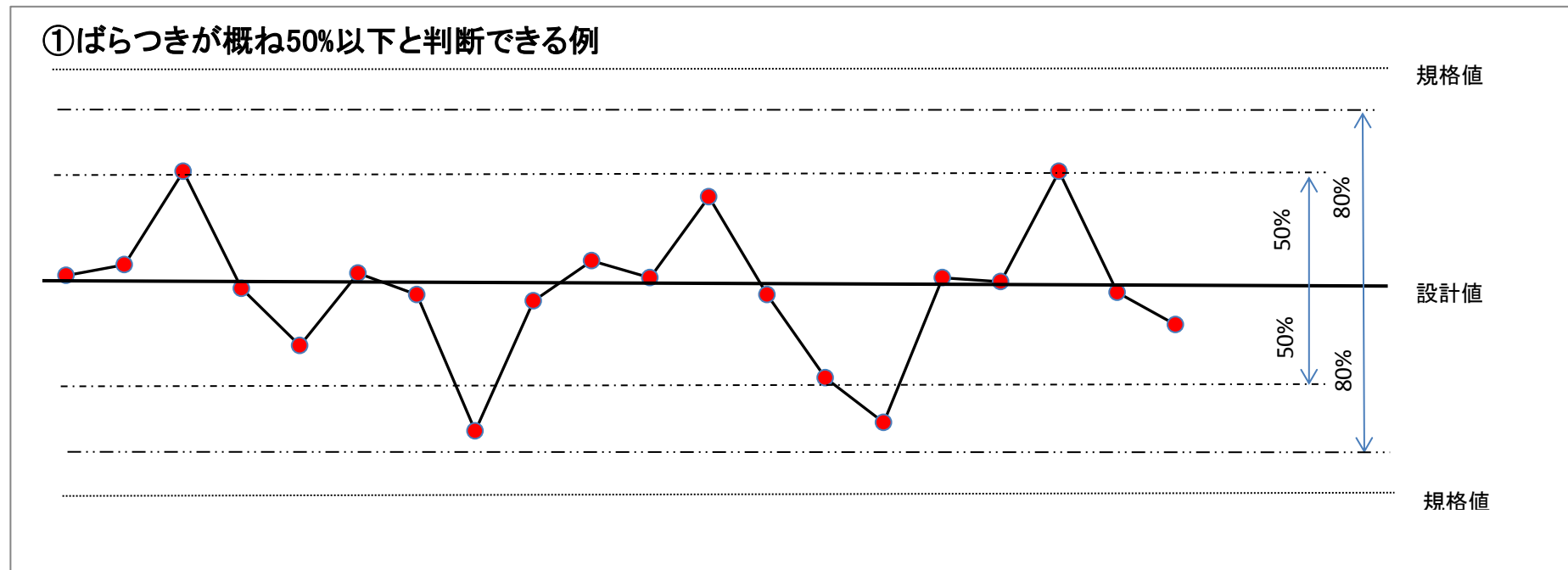


別紙-4

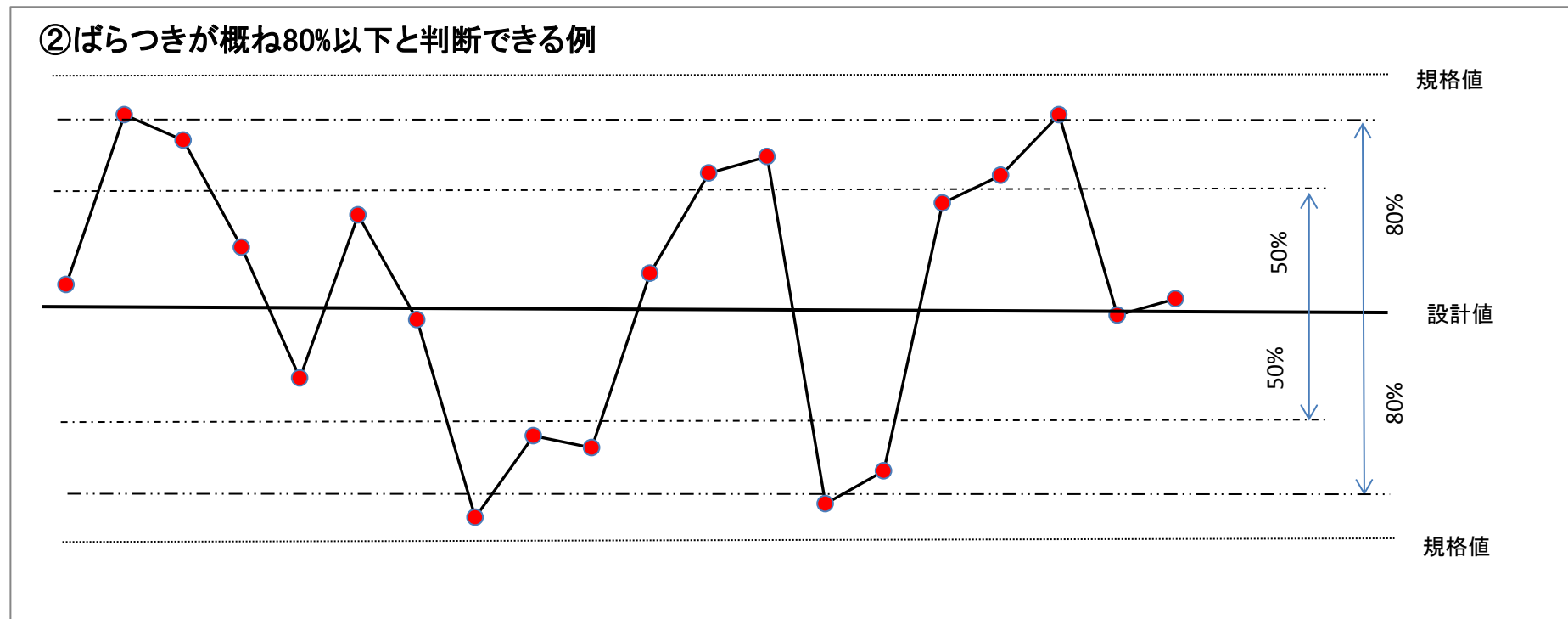
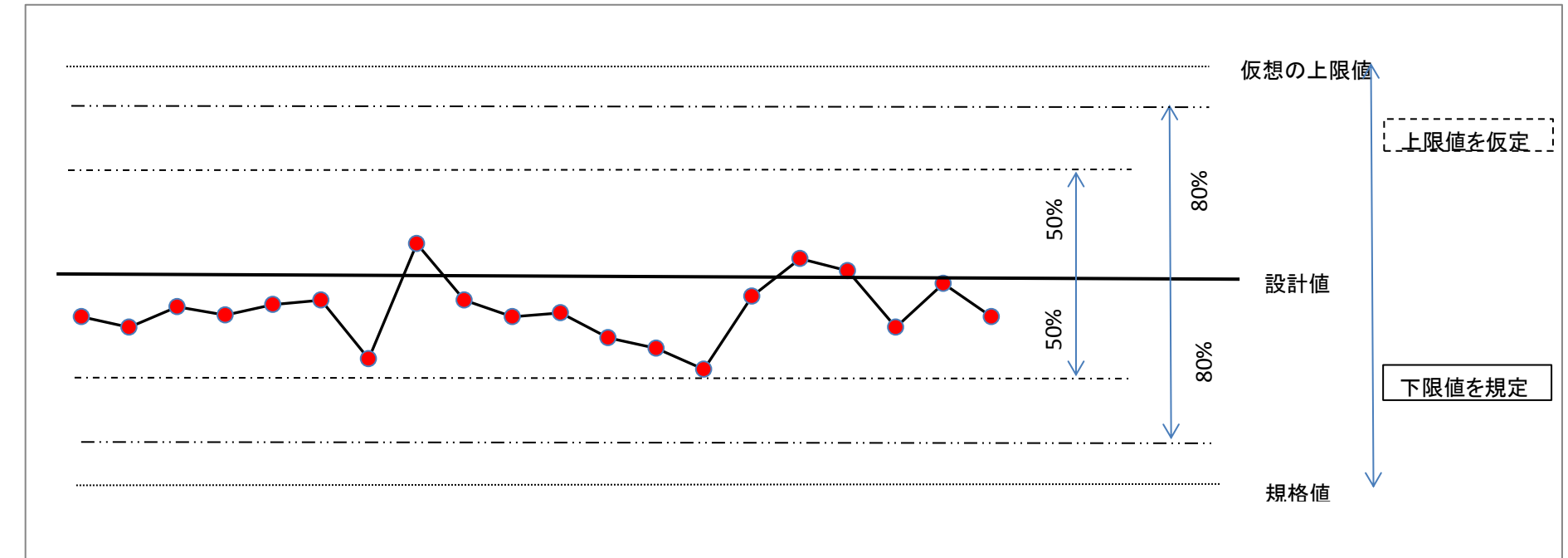
出来形及び品質のばらつき考え方

[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)



(下限値のみの場合)

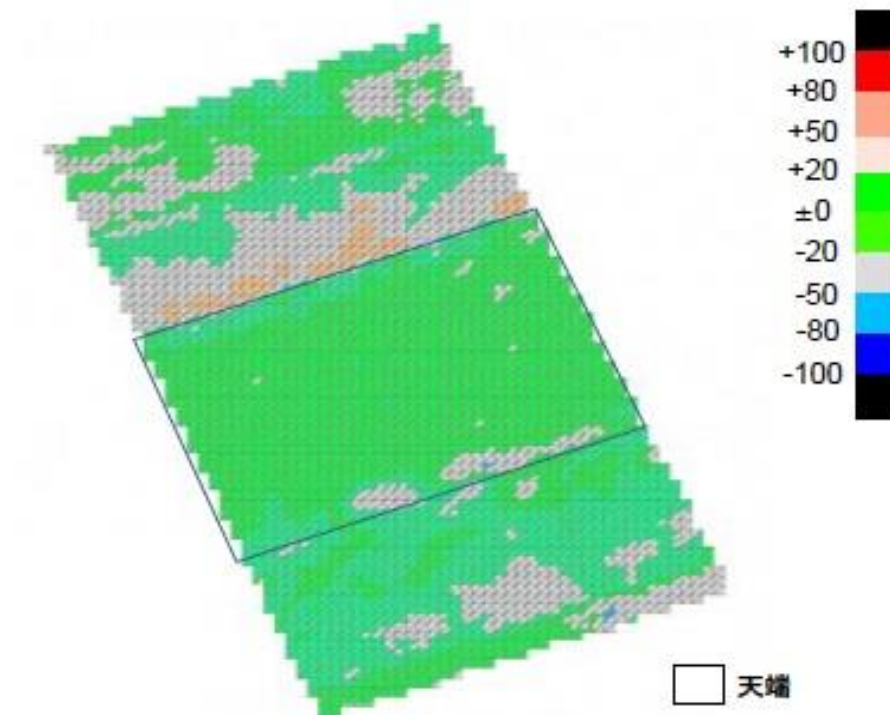


③ICT活用工事の例
出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断

ばらつきが50%以下と判断出来る例

天端データ総数	1000
法面データ総数	1700

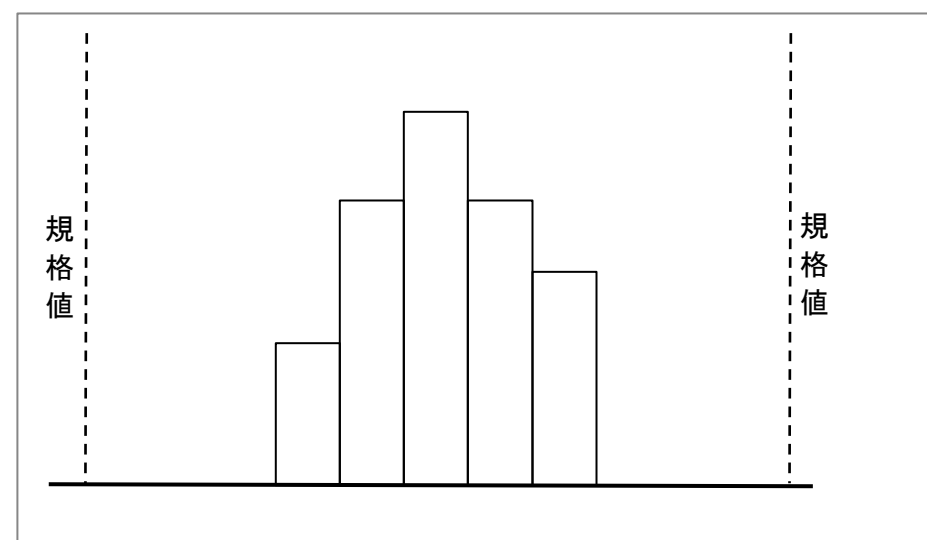
天端のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1000
	規格値の±50%以内のデータ数	997
法面のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1700
	規格値の±50%以内のデータ数	1360



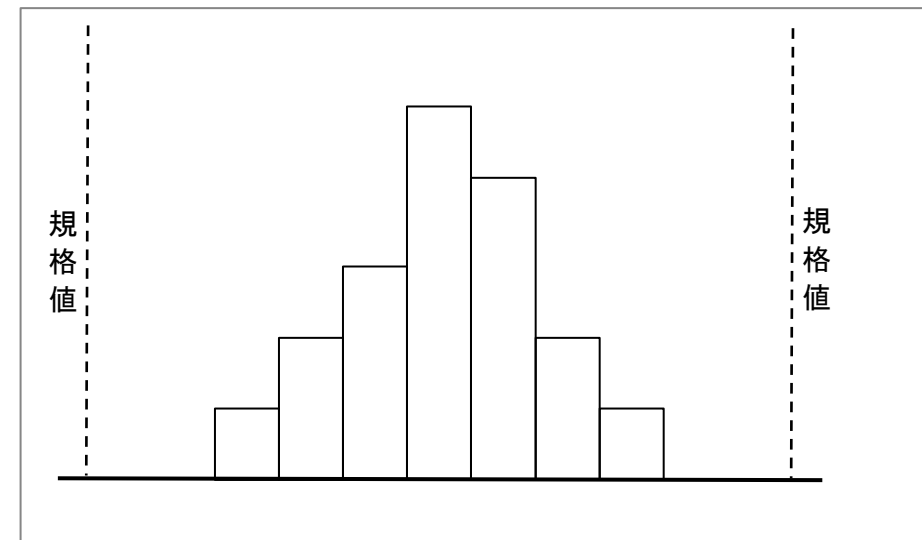
※概ねとは、測定値の8割以上が該当する場合とする。

[度数表またはヒストグラムの場合]

ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい



別紙－3の作成方法

作成方法	評価対象工種
<p>1 主たる工種の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量総括表などを参考に評価対象の主たる工種を選定する。(考査項目別運用表の工種の欄から選ぶ。) ・主たる工種は工事金額の割合の多い順に選定し、全体の50%を超える工種(任意仮設費等は除いて1工種で50%を超える場合は1工種、2工種で超える場合は2工種、最大3工種まで)を選定する。 	<p>(主たる工種の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート構造物工事 ・護岸・根固・水制工事 ・舗装工事 ・ ・
<p>2 出来形の評価 別紙－3①</p> <p>①評価項目の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事全般について、評価対象項目に基づき評価する。 <p>②ばらつきの判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる工種の評価対象測定項目について評価する。 ・管理図表で打点10点以上作成されているものを、運用表別紙－4の考え方に基づきばらつきの判断をする。(作成されていない場合は、軽微な手直しとして取り扱い、評価は「c」とする。) ・別紙－3①にばらつき判断の根拠となった主たる工種名と測定項目名を空欄に記載する。 	<p>工事全般</p> <p>主たる工種</p>
<p>3 品質の評価 別紙－3②～③④</p> <p>①評価項目の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる工種について、評価対象項目に基づき評価する。 ・主たる工種が複数ある工事の場合は、別紙－3④を用い、工事毎の主たる工種についての評価を行い、合計値の割合で評価値を算出して全体の評価する。 <p>②ばらつきの判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる工種の評価対象測定項目について評価する。 ・管理図表で打点10点以上作成されているものを、運用表別紙－4の考え方に基づきばらつきの判断をする。(作成されていない場合は、ばらつきで判断不可能とする。) ・別紙－3②～④にばらつき判断の根拠となった主たる工種名と測定項目名を空欄に記載する。 	<p>主たる工種</p> <p>主たる工種</p>
<p>4 出来ばえの評価 別紙－3⑤～④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる工種について、評価対象項目に基づき評価する。 ・主たる工種が複数ある工事の場合は、別紙3－④を用い、主たる工種のうち工事金額割合が1番多い工種を選定して評価する。 	<p>主たる工種</p>

※出来形のばらつき判断例(別紙－5参考)

出来形のばらつき判断例

- ・管理図表で10点以上作成されているものを判断の対象とする。
(作成されていない場合は、軽微な手直しとして取り扱い、評価は「c」とする。)

	<例1> (通常工事)	<例2> (多工種複合工事)		
主たる工種	舗装工事	舗装工事	護岸工事	
測定項目毎のばらつき	(表層工) 厚さ ばらつき50%以内 幅 ばらつき80%以内	(表層工) 厚さ ばらつき50%以内 幅 ばらつき80%以内	(コンクリートブロック工) 基準高 ばらつき50%以内 法長 ばらつき80%超	
	(上層路盤工) 厚さ ばらつき50%以内 幅 ばらつき80%以内	(上層路盤工) 厚さ ばらつき50%以内 幅 ばらつき80%以内	厚さ ばらつき80%以内 (基礎工(護岸)) 基準高 ばらつき50%以内	
			幅 ばらつき50%以内 高さ ばらつき80%以内	
ばらつきの判断	当該工事のばらつきの判断をする。 主たる工種の測定項目のうち最もばらつきの大きい項目を当該工事のばらつきとする。			
主たる工種	舗装工事	護岸工事		運用表に記載 ・主たる工種名 ・測定項目名
測定項目	(表層工) 幅	(コンクリートブロック工) 法長		
ばらつきの	ばらつき80%以内	ばらつき80%超		

※品質のばらつき判断も同様とする。